

# あげアゲ！くれよんドーナツ

森のくれよん 2022 12月活動報告  
日程：11月27日(日) 場所：花脊山の家

① 今月は、いつもより早い時間に集合し、バスと送迎車で活動場所となる“花脊山の家”へ向かいました。施設の野外炊事場に到着すると、早速エプロンに着替えて調理開始です。今回作るドーナツは、【豆腐】を入れ、ふわふわ食感を目指しました。まずは、少人数のグループに分かれ、へらなどの道具を上手に使いながら生地を混ぜていきます。生地作りには力が必要で、メンバーで相談して交代しながら混ぜておられました。生地をひとまとめにしたら、絞り袋に入れて、自分の好きな形に成型していきます。



どなかたちに  
しょうかな？



まぜまぜ…



② ハート形や星型など、個性豊かな形のドーナツが揃いました。それを油の中にそっと投入し、揚げていきます。ドーナツが揚げると、チョコスプレーやソースをかけてトッピングをしました。お昼ご飯の際には、試食として揚げたてのドーナツをいただきました。



いただきまーす！



③ 昼食後は、おやつ用として第二弾のドーナツを作りました。自分用ではなく、みんなに食べてもらう為に、より気持ちを込めて作っておられました。全てのドーナツが完成したら、片付けを行いました。お手伝いが大好きなくれよんメンバー達。率先して食器拭きや掃き掃除に取り組む姿が見られました。そして、お待ちかねのおやつタイムです！自分たちで作ったドーナツを口いっぱい頬張り、笑顔を見せておられました。帰りのバスでは疲れが出たのか、みんなすぐに眠っておられました。



うまく  
あがるかな？



今月は、年に一度の野外炊事を行いました。くれよんの野外炊事はお菓子を作ることが多く、いつもディレクターが前もって試作を行うのですが、これがなかなか大変なんです…。まず、既存のレシピでは何かと便利な家電を使っている場合が多い為、野外の限られた道具や条件の中で、理想のものを作るにはどうしたら良いかという壁にぶつかります。そして、メンバーが作る事を想定して工程を考え、何度も試作を重ねます。ただ、大変だと感じる一方で、試行錯誤する時間が案外楽しかったりもします。活動は、メンバーにとっての挑戦でもあり、私にとっても挑戦です。他の活動でも共通して、“幼児さんでも出来るように”とハードルを下げる事は簡単ですが、むしろ少し背伸びした事に挑戦してもらい、大きな達成感や満足感を得て欲しいと考えています。今後もこの想いを持って活動を企画し、メンバーと一緒に挑戦していきたいと思えます。(生田 千恵)